

平成 16 年 10 月 19 日

報道各位

ITX イー・グローバレッジ株式会社
株式会社インサイトテクノロジー
インフォコム株式会社

インフォコム、ITX-EG、インサイトテクノロジーが Oracle セキュリティ分野で協業 PitBull と PISO ベースのソリューションで、データベースアクセスの高度な追跡が可能に

インフォコム株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:沼 惇、以下インフォコム)、ITX イー・グローバレッジ株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:野村 昌雄、以下 ITX-EG)、株式会社インサイトテクノロジー(本社:神奈川県茅ヶ崎市、代表取締役社長:小幡 一郎、以下インサイトテクノロジー)の3社は、セキュリティ機能強化 OS(以下セキュア OS)と、Oracle データベース向け情報漏洩監視システムをベースとする個人情報漏洩対策ソリューションの提供において協業することに合意いたしました。

3 社は、Oracle データベースに蓄積された個人情報の漏洩対策へのニーズの高まりに応えるため、Oracle のパフォーマンスチューニングや、データベース設計から運用まで一貫したコンサルテーションを国内外に提供するインサイトテクノロジーが開発・提供する情報漏洩監視システム「Performance Insight Security for Oracle」(以下 PISO)、インフォコムが提供するセキュア OS「PitBull Protector Plus」(以下 PitBull)をベースとした、画期的なマルチレイヤ個人情報漏洩対策ソリューションの提供を本日より開始します。

今回提供を開始するソリューションは、これまで困難であった Oracle データベースサーバ上の個人情報保護対策を可能にする画期的なソリューションです。昨今、クライアント PC での個人情報漏洩対策は各種のセキュリティ製品により十分な対策が可能になってきておりますが、大量の個人情報が蓄積・利用されるデータベースサーバやアプリケーションサーバ上での個人情報漏洩対策は、アプリケーション、データベース、オペレーティングシステム、ネットワークの全レイヤに対応する必要があるにもかかわらず、これら全てのレイヤをカバーするソリューションが無かったため、実現が非常に困難でした。このソリューションにより、アプリケーションとデータベースのレイヤに PISO を、オペレーティングシステムとネットワークのレイヤに PitBull を適用することで、全てのレイヤに包括的な対策を行うことが可能になりました。

さらに、従来は困難であったシステム管理者やデータベース管理者、アプリケーション開発者、正当なアクセス権を持つデータベース利用者といった正規ユーザの行動を、全レイヤで監視・記録することで、問題発生を未然に抑止したり、問題発生時に正確に追跡したりすることが可能になりました。

この他にも、PitBull による、ログ上での「なりすまし」の防止や不正侵入の防止、PISO による SQL レベルでの大量アクセスや異常アクセスの検出・警告などの機能を持ち、全てのデータベースシステムの個人情報漏洩対策として必要十分なソリューションとなっています。たとえば、アプリケーション開発者が、アプリケーション用の共通ユーザ ID でデータベースにアクセスするような、通常はログを見ても追跡できないようなケースでも、いつ、誰がどの端末からどんな SQL でアクセスしたか、といった詳細な追跡が可能になります。

インフォコムが総輸入代理として販売する「PitBull Protector Plus」は、OS のセキュリティ機能を大幅に強化することで、アプリケーションに隠された未知のセキュリティホールからもサーバーやシステムを守るとともに、独自の強力なトラッキング機能により、サーバー利用者に関する詳細かつ正確な

情報を監査ログとして記録することができる、最先端のセキュア OS ソリューションです。OS のソースコードレベルでの改良を行わない LKM (Loadable Kernel Module)方式を採用しており、市販の各種 Linux ディストリビューションや各種 Unix, Windows をプラットフォームとすることで、市販のアプリケーションをそのまま利用することが可能となります。

インサイトテクノロジーが開発し、戦略的グローバルソリューションパートナーである ITX-EG と提供する情報漏洩監視システム「Performance Insight Security for Oracle」は、データベースのパフォーマンスに影響を与えずに「個人情報テーブル」に対する全てのアクセスを監視します。更に、たとえ DBA など Oracle を管理する立場の人間からのアクセスであっても、全てのアクセス・ログを徹底的に記録します。データベースは SQL を発行しなければデータを引き出すことはできません。そして発行された全ての SQL が存在する場所は、メモリー上にある SGA 領域です。PISO はこの SGA 領域に直接アタッチする技術を持ちます。Oracle から情報を取得するのではなく、メモリー上から直接情報を取得しますので、データベースのパフォーマンスダウンは発生しません。

協業の具体的な内容としては、ソリューションの定常的なバージョンアップ、販売やマーケティング面での相互協力等を行います。その第一弾として、10月20日～22日に東京ビッグサイトで開催される、「Security Solution 2004」展示会のインフォコム/PitBull ブース（ブース番号：F36）に本ソリューションを出展いたします。

本ソリューションの初年度売上目標は、来年3月まで協業3社全体で50社10億円を目標としております。

<報道関係者お問合せ>

インフォコム株式会社
広報・IR室長 森田 昇
東京都千代田区神田駿河台3-11

TEL : 03-3518-3160 pr@infocom.co.jp
<http://www.infocom.co.jp>

株式会社インサイトテクノロジー
広報担当：河村 愛子
神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎2-1-52

TEL : 0467-59-1527 adm@insight-tec.co.jp
<http://www.insight-tec.com>

ITX イー・グローバルレッジ株式会社
ネットワークソリューション部 担当：石井 亮二
東京都目黒区上目黒2-1-1

TEL : 03-6412-6024 insight@e-globaledge.com
<http://www.e-globaledge.com>

記載された会社名および製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

以上